

「学校教育目標」と「令和6年度重点目標」に向けて

グローバルな課題の解決に挑む力、持続可能な社会づくりに貢献できる力を育む学校

探究を軸とした学びの推進

シティズンシップ教育の充実

ダイバーシティ教育の推進

豊かな人間性

- ・探究活動やHR活動等を通して、主体的に課題を発見し解決する中で、集団における役割を自覚し、協働して課題を解決する力を身につけさせる
- ・シティズンシップ教育等を通して、予測困難な現実社会に目を向け、他者と協働しながら、諸課題の解決に主体的に取り組もうとする能力を養う
- ・ライフスキル教育等を通して、自他の特性を理解し、健全な人生観や職業観を確立させ、社会性を養う

健康・体力

- ・健全な健康観を作り、生涯を通して自己や家族の健康を管理・改善しようとする態度を育成する
- ・保健体育の授業や学校行事、部活動に意欲的に取り組み、活動計画や運営に主体的に関わることができる力を養い、生涯にわたり体力増進に努めようとする態度を養う
- ・一人一人が幸福や生きがいを感じられる学びを生涯にわたって実践することができる資質・能力を養う（日本社会に根差したウェルビーイングの実現）

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- (1)自ら課題を発見し、協働しながら創造的に解決できる
- (2)主体的に学び続ける資質・能力を身につける
- (3)多様性を受容し、グローバルな視野で思考・表現・判断できる

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- (1)課題を見だし、協働しながら創造的に解決できる力
- (2)主体的に学習に取り組み、自らの学習状況を把握し、振り返りながら自己の学びを調整する力
- (3)多様性を受容し、グローバルな視野で思考・表現・判断することができる力

生徒の実態

- ・ICT機器などを活用しつつ、主体的に学ぶ機会や対話的に学ぶ機会が少なく、深い学びを実践している生徒が少ないことが課題である
- ・学校行事やキャリア形成活動において、主体的に活動している生徒が少ないことが課題である

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- ・教育相談体制を整え、学校、保護者、SC、SSW等と連携を図り支援する。
- ・必要に応じて、生徒の特性を踏まえた個別の教育支援計画を作成するとともに、教職員間で共有を図り、学校全体で支援する。
- ・ライフスキル教育を通して、生きていく上で必要なスキルを認識し、日常の様々な問題や課題に対処するための技術を指導する。

目指す生徒の姿

- ・教師や友人と協働しながら、学問のよさを理解するとともに、学び方を工夫しながら深い学びを実践しようとする生徒
- ・グローバルな課題の解決に挑む力、持続可能な社会づくりに貢献できる力を持つ生徒

何を学ぶか

○教育課程の編成

- (1)探究を軸とした創造的な学びの環境を整備（デジタル人材育成のための基盤整備）
- (2)進路希望に応じた、多様な学びが選択できる教育課程の編成
- (3)主体的に社会参画できる環境の整備

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- (1)探究を軸とした、教科横断的な学びの実践（カリキュラム・マネジメント）-各授業・総探・総学
- (2)ICTを効果的に活用することによる「主体的・対話的で深い学び」(A.L)を行う授業の推進（個別最適な学び・協働的な学び）
- (3)各授業や総合的な探究の時間等、学校活動全体で取り組むシティズンシップ教育の深化

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

【探究を軸とした学びの推進】

<アクティブラーニングの視点からの学びの充実>

- ・STEAM教育
- ・教育DX
- ・シティズンシップ教育
- ・ダイバーシティ教育（英語教育の充実）
- ・ライフスキル教育

【探究活動を支援する指導体制の充実】

<県立高校チャレンジプロジェクト重点校>

- ・大学生による探究ゼミ、大学教授による教員研修
- ・クラス発表会、中高合同探究発表会の実施
- ・全国規模等の外部コンテスト応募支援
- ・生成AI活用入門講座等の課外講座

【キャリア形成を支援する指導体制の充実】

<探究活動を大学入試につなげる支援>

- ・進学希望者向け課外活動、外部模擬試験
- ・JAや大学見学会等によるキャリア形成活動
- ・インターンシップによる職業観育成
- ・OBや外部専門家による進路講演会

安心・安全を守る

- ・PTA、教育振興会との協力、連携
- ・常陸太田警察署等との協力、連携の構築
- ・常陸太田市役所等との協力、連携体制の構築

開かれた学校作り

- ・保護者、地域、学校評議員、同窓会等への情報発信と協力
- ・保護者、地域からのアンケートによる客観的評価と反映
- ・外部専門家と連携して探究活動等の質的向上